

教科	科目	単位数	種別	年次	
家庭	家庭基礎	2	必修科目	1年	
使用教科書	図説家庭基礎(実教出版)			担当者	

学習目標	生活の営みに係る見方・考え方を働きかせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。																									
学習方法	授業中や教科書、実習や実験などを通し、生活についての正しい知識を身につけるよう心がける。学習するとき、家庭科の各分野(衣食住、消費、福祉、子ども、高齢者等)の学習内容、小中学校や他教科での学習内容と関連づけ、総合的に考えると理解が深まる。今までの経験や体験、先生方やクラスメートの意見や考えを大切にし、授業の中での学習や実習の結果や反省を行かせるように、改善点や成功点を考える。無意識に行っている日常生活や家庭生活を取りまく社会の出来事に关心を持ち、その中から課題や疑問を見つけ出し、自分の考えをもとに解決する。																									
学習評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">育成を目指す資質・能力</th> <th colspan="7">育成を目指す資質・能力の評価内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 基礎的・基本的学力</td> <td>基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。</td> </tr> <tr> <td>2 課題解決能力</td> <td>社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。</td> </tr> <tr> <td>3 情報活用能力</td> <td>多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。</td> </tr> <tr> <td>4 自己表現力</td> <td>目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。</td> </tr> <tr> <td>5 主体性</td> <td>課題解決に向け、主体的に追究することができる。</td> </tr> <tr> <td>6 協働性</td> <td>課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。</td> </tr> <tr> <td>7 自己理解</td> <td>諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。</td> </tr> <tr> <td>8 社会貢献(社会参画)</td> <td>地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。</td> </tr> </tbody> </table> <p>以上の観点をふまえ、 テストの点数、作品(実技)の点数、授業中の学習状況、実習の取組、授業で活用するプリントの提出などで総合的に評価します。 プリントは自分の考えを書き込んだりし、自分なりの工夫や整理をするように心がけ、自分の考えは自信を持って表現してください。</p>	育成を目指す資質・能力		育成を目指す資質・能力の評価内容							1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。	2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。	3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。	4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。	5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。	6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。	7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。	8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。
育成を目指す資質・能力		育成を目指す資質・能力の評価内容																								
1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。																									
2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。																									
3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。																									
4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。																									
5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。																									
6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。																									
7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。																									
8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。																									
担当者から	製作実習の作品提出、授業で活用するプリントの提出を重視します。期限を守り、しっかり取り組みましょう。忘れ物をしたら申し出るようにしましょう。授業はHR教室のほかに、被服室・調理室(どちらも1階)でも行います。教室移動の場合はチャイムがなる前に移動し、遅刻した場合は必ず理由を伝えましょう。移動教室の場合、ジャージなど着替えが伴うこともあります。調理実習での忘れ物には特に気をつけましょう。																									

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法 <small>主目的に学習に取り組む態度</small>
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現		
4	A人の一生と家族・家庭及び福祉	(1)生涯の生活設計	人の一生について理解し、生涯を見通し、主体的に生活するために、家族や地域社会の人々と協力・協働していく力を身に付ける。	○	○			○				人の一生について、自己と他者、社会との関わりからさまざまな生き方があることを理解するとともに、自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して意志決定していくことの重要性について理解している。	生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考慮し、生活設計を工夫し、表現することができる。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに自分や家族、地域生活との関わりを踏まえながら、将来の充実向上に向かって、生活設計を創造し、実践しようとしている。	テスト、実習のレポート、授業の取り組みの様子、ワークシート等の内容、実技などを基に総合的に評価する。
		(2)青年期の自立と家族・家庭	青年期の自立と家族家庭について理解し、生涯を見通し、主体的に生活するために家族や地域社会の人々と協力・協働していく力を身に付ける。	○		○		○				生涯発達の視点で青年期の課題を理解するとともに、家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会との関わりについて理解している。	家庭や地域のよりよい生活を創造するため、自己の意志決定に基づき、責任を持って行動することや男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を気づくことの重要性について考察し、表現するなどをして、課題を解決する力を身に付けている。	青年期の立場から様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために、実践しようとしている。	
		(3)子どもの生活と保育	子どもの生活と保育について理解し、生涯を見通し、主体的に生活するために家族や地域社会の人々と協力・協働していく力を身に付ける。	○	○				○			乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもを取り巻く社会環境、子育てについて理解するとともに、乳幼児と適切に関わるために基礎的な技能を身に付けている。	子どもを産み育てることの意義について考えるとともに、子どもの健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について考察し、表現するなどして、課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、社会の一員として子どもの成長に主体的に関わり、地域に参画しようとするとともに自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために、実践しようとしている。	
		(4)高齢期の生活と福祉	高齢者の生活と福祉について理解し、生涯を見通し、主体的に生活するために家族や地域社会の人々と協力・協働していく力を身に付ける。	○	○			○				高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解するとともに、生活支援に関する基礎的な技能を身に付けている。	高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について考察し、表現するなどして、課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、家庭での介護などの課題解決に主体的に取り組んだり、地域社会に参画しようとするとともに生活の充実向上を図るために、実践しようとしている。	
		(5)共生社会と福祉	共同社会と福祉について理解し、生涯を見通し、主体的に生活するために家族や地域社会の人々と協力・協働していく力を身に付ける。	○		○				○		生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。	家庭や地域及び社会の一員としての自覚を持って共に支え合って生活することの重要性について考察したこと根拠に理論的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	社会の一員としての自覚をもって、様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために、実践しようとしている。	



教科	科目	単位数	種別	年次	
家庭	フードデザイン	2	選択科目	2年	
使用教科書	フードデザイン Food Changes LIFE(教育図書)			担当者	

学習目標	生活の営みに係る見方・考え方を働きかせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。																								
学習方法	授業や実習などを通し、食についての正しい知識を身につけるようにする。どうしたらよくなるか、いい方法はないかななど考え、計画・実習をおこなう。実習後は、成功点や改善点を考察し、次の実践に活かす。実習・実験にもともない、調理教室での授業の場合は授業開始のチャイムが鳴る前に移動しておく。(身だしなみに指定がある場合は開始前に完了しておくこと)																								
学習評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th>育成を目指す資質・能力</th> <th>育成を目指す資質・能力の評価内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 基礎的・基本的学力</td> <td>基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。</td> </tr> <tr> <td>2 課題解決能力</td> <td>社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。</td> </tr> <tr> <td>3 情報活用能力</td> <td>多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。</td> </tr> <tr> <td>4 自己表現力</td> <td>目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。</td> </tr> <tr> <td>5 主体性</td> <td>課題解決に向け、主体的に追究することができる。</td> </tr> <tr> <td>6 協働性</td> <td>課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。</td> </tr> <tr> <td>7 自己理解</td> <td>諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。</td> </tr> <tr> <td>8 社会貢献(社会参画)</td> <td>地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。</td> </tr> </tbody> </table> <p>以上の観点をふまえ、 テストの成績、課題やレポートの取組状況、授業への参加態度、実習での取り組みなどから総合的に評価します。</p>							育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容	1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。	2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。	3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。	4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。	5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。	6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。	7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。	8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。
育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容																								
1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。																								
2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。																								
3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。																								
4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。																								
5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。																								
6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。																								
7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。																								
8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。																								
担当者から	実習費がかかります(3,000円程度)。授業で活用するプリントの提出を重視します。期限を守り、しっかり取り組みましょう。教室移動の際はチャイムがなる前に移動し、遅刻した場合は必ず理由を伝えましょう。身支度、着替えが伴うことがあります。実習授業の身支度を重視するので、忘れ物に気をつけましょう。																								

月	大单元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主目的に学習に取り組む態度	
4	2 フードデザインの構成要素	1 健康と食生活	食事の意義と役割	食事の意義と役割について理解する。	○	○				○		食事の意義と役割について理解するとともに食習慣、栄養状態、食事事情、食の安全及び環境との関わりなどの視点で我が国の食生活の現状と課題を把握する。	健康な食生活のあり方にに関する課題を発見し、その解決に向けて、望ましい食習慣の形成や環境に考慮し、考慮したことに基づいて理論的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	健康と食生活について自ら学び、食生活を総合的にデザインするために主体のかつ協働的に取り組み、食生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	テスト、実習等のレポート、ワークシートの記入内容、実習での取り組みなどを基に総合的に評価する。
			食生活の現状と課題	食習慣、栄養状態、食糧事情、食の安全と環境の関わりなどの視点を持ち、我が国の食生活の現状と課題を把握する。	○	○	○			○					
		ア 栄養	ア 栄養	栄養素の機能と代謝及び水の生理的機能、栄養素の消化、吸収、排泄の仕組みなど理解する。日本人の食事摂取基準や食生活と生活習慣病などの関わり、各栄養素を多く含む食品、栄養を効率的に利用するための調理法など理解する。	○	○	○					食生活を総合的に計画・実施できるよう、栄養、食品、料理形式と献立、調理、テーブルコーディネートなどのフードデザインの構成要素について課題を発見し、その解決に向けてより豊かな食生活について考察し、工夫している。	栄養、食品、料理形式と献立、調理、テーブルコーディネートなどのフードデザインの構成要素について課題を発見し、その解決に向けてより豊かな食生活について考察し、工夫している。	栄養、食品、料理形式と献立、調理、テーブルコーディネートなどのフードデザインの構成要素について自ら学び、食生活を総合的にデザインするために主体のかつ協働的に取り組もうとしている。	
			イ 食品	食品の特徴、調理上の性質及び調理における成分の変化などを理解する。食品の生産や流通の現状、食品の性質と目的に応じた加工、貯蔵の方法や食品の表示などについて知る。	○	○				○					
			ウ 料理形式と献立	日本料理、西洋料理及び中国料理など代表的な料理様式についてそれぞれの料理の特徴や献立構成、マナーなどを理解する。献立作成の要点や手順、目的や条件に応じた献立を考察する。			○	○	○						
			エ 調理	安全性、栄養、嗜好、心身の健康、文化の伝承などを踏まえ、日常食、行事食、供應食など調理に必要な知識と技術を理解する。食物のおいしさは味、香り、色などに関わり、切り方、加熱などの調理操作が大きく影響することを理解する。	○	○		○							
			オ テーブルコーディネート	食事を心豊かにおいしく食べるためにはテーブルコーディネートの必要性を理解する。料理に応じた適切なテーブルセッティングを考察する。	○	○			○						
		3 フードデザイン実習	ア 食事テーマの設定と献立作成	日本料理、西洋料理及び中国料理など様式別に季節、行事、料理形式、対象などの条件を考慮し、それにふさわしいテーマを設定し合わせて、献立を考える。	○	○			○			食事テーマに応じた献立作成、食事の選択と調理、テーブルコーディネートと各料理のサービス方法について、基本的な考え方や方法を理解し、関連する技術を身に付けていく。	食事テーマについて課題を発見し、その解決に向けて考察し、その根拠に基づいて理論的に表現するなどしている。	フードデザイン実習について自ら学び、食生活を総合的にデザインするために主体のかつ協働的に取り組もうとしている。	
			イ 食品選択と調理	献立に適した食品の選択と食品の調理性を踏まえた調理を理解する。生鮮食品やその加工品の選別について考える。	○	○			○						

1		ウ テーブルコーディネートとサービスの実習	食事のテーマにふさわしい食卓の整え方や周囲の環境づくりを理解する。 コミュニケーションを円滑に図り、もてなしの心や食べる人の心身の状態などを考え、日常の食事に応用できる方法を考察する。	<input type="radio"/>								
2	4 食育と食育推進活動	ア 食育の意義	食育基本法及び食育推進基本計画の趣旨について理解し、それを踏まえ、食育の重要性、地域における食育推進について考察する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	食育を推進するとの重要性を理解し、家庭や学校及び地域で食育推進活動を推進するための関連する技術を身に付けていく、	家庭や学校及び地域における食育の推進について課題を発見し、その解決に向けて考察し、その根拠に基づいて理論的に表現するなどしている。	食育と食育活動について自ら学び、家庭や社会の人々の健康の保持推進と健全な食生活の実現を図るために、食育推進に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
3		イ 家庭や地域における食育推進活動	家庭や学校及び地域における食生活上の問題点や課題を考え、解決のために計画を考察し、実践に生かす。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>			

教科	科目	単位数	種別	年次	
家庭	住生活	2	選択科目	異年次合同	
使用教科書	なし			担当者	

学習目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。																								
学習方法	授業や演習を通じ、正しい知識を身につけ、情報を選択できるように心がけましょう。授業で活用するプリントの提出を重視します。提出物の大切を守るようにしましょう。 忘れ物をした場合は、申し出るようになります。																								
学習評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th>育成を目指す資質・能力</th> <th>育成を目指す資質・能力の評価内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 基礎的・基本的学力</td> <td>基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。</td> </tr> <tr> <td>2 課題解決能力</td> <td>社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。</td> </tr> <tr> <td>3 情報活用能力</td> <td>多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。</td> </tr> <tr> <td>4 自己表現力</td> <td>目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。</td> </tr> <tr> <td>5 主体性</td> <td>課題解決に向け、主体的に追究することができる。</td> </tr> <tr> <td>6 協働性</td> <td>課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。</td> </tr> <tr> <td>7 自己理解</td> <td>諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。</td> </tr> <tr> <td>8 社会貢献(社会参画)</td> <td>地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。</td> </tr> </tbody> </table> <p>以上の観点をふまえ、 テストの点数、授業中の取り組み、演習やレポートの取り組み、提出物などで総合的に判断します。</p>							育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容	1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。	2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。	3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。	4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。	5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。	6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。	7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。	8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。
育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容																								
1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。																								
2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。																								
3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。																								
4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。																								
5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。																								
6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。																								
7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。																								
8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。																								
担当者から	実習費を集める予定です。また、実習費とは別に授業での演習のため、家から不用になったもの(通販カタログなど)を持ってきてもらう場合があります。教室移動などでチャイムがなる前に移動し、遅刻した場合は必ず理由を伝えましょう。																								

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	人と住居	住まいと風土	日本の住居について理解する。	○	○				○			日本の各地や世界の住生活や住居の様子、住文化の多様性や住まいの役割、自然と住居の関連などを理解している。	日本の各地や世界の住生活や、住文化などに関わる課題を発見し、その解決策を考察し、考察したことを根拠に基づいて、理論的に表現するなどし、課題を解決する力を身に付けています。	住生活や住文化、自然環境と住居など、人と住居との関わりについて自ら学び、自分や家庭、地域の生活の向上を図るために実践しようとしている。	テスト、プリントの記入の内容、演習等のレポートなどをもとに総合的に評価する。
4		住まいと文化	海外の住居の特徴について理解する。	○		○									
4		住まいの様式や住まいの役割について、理解する。	○		○										
5		人と住居の関わり	自然環境や文化などに調和した住まいを考える。	○			○		○						
5	住まいの計画	住空間	ライフステージと住まいの関わりについて理解する。	○		○	○					ライフステージと住まい、生活行為と必要なスペース、家族構成に応じた住まいなどを理解し、平面図の読み取りや読み取った情報を適切に整理できる。理解したこと踏まえ、平面図の作成する技能を身に付けています。	ライフステージと住まい、生活行為と必要なスペース、家族構成に応じた住まいなどを理解し、平面図の読み取りや読み取った情報を適切に整理できる。理解したこと踏まえ、平面図などに表現するなどし、課題を解決する力を身に付けています。	ライフステージと住まい、生活行為と必要なスペース、家族構成に応じた住まいなどを理解し、平面図などに表現するなどし、課題を解決する力を身に付けています。	テスト、プリントの記入の内容、演習等のレポートなどをもとに総合的に評価する。
6			生活行為とスペース、空間と動線の関わりを理解する。	○		○			○						
6			平面図を見て、住宅、部屋や家具の配置を理解する。	○				○							
7			家族構成などに応じた適切な住居の選択や必要なスペースなどがわかる。	○		○			○						
8		住空間作り	部屋の間取りと実際の大きさを理解する。	○	○	○									
8			学習した内容を生かし、一軒家の平面図を作る。		○		○		○						
9	安全・安心な住まい	防災・防犯	災害の種類を理解し、対応を考える。	○	○				○			防犯や防災の種類やその対策、家庭内での事故防止、誰にでも住みやすい住宅などについて、理解している。	防犯や防災の種類やその対策、家庭内での事故防止、誰にでも住みやすい住宅などについて、理解している。	防犯や防災の種類やその対策、家庭内での事故防止、誰にでも住みやすい住宅などについて、理解している。	防犯や防災の種類やその対策、家庭内での事故防止、誰にでも住みやすい住宅などについて、自ら学び、生活の向上を図るために実践しようとしている。
9			個人や家族に合わせた災害への備えを考える。	○	○				○						
10			家庭内事故のリスクを考え、対策を考える。	○		○			○						
10			防災マップを作る。		○	○	○		○						
11		住みやすい住居	住まいのバリアフリーとユニバーサルデザインを理解する。	○	○			○							
11	住環境	住まいと健康	快適な住環境の要素を理解し、それを保つための掃除などの対応を理解する。	○		○		○				住まいと健康との関連、住まいのメンテナンスなど住環境について理解している。	住まいと健康との関連、住まいのメンテナンスなど住環境について理解している。	住まいと健康との関連、住まいのメンテナンスなど住環境について自ら学び、生活の向上を図るために実践しようとしている。	住まいと健康との関連、住まいのメンテナンスなど住環境について自ら学び、生活の向上を図るために実践しようとしている。
12		住まいの管理	住居のメンテナンスの必要性と方法について理解する。	○	○				○						
12	インテリア	インテリアコーディネート	色が心に与える影響を理解し、室内のレイアウトやコディネートを考える。	○			○		○			色が心に与える影響を理解し、インテリアコーディネーターに関する技術を身に付けていている。	部屋の種類や好みを考慮したインテリアコーディネーターを考え、工夫し、考えたものを表現する力を身に付けている。	インテリアコーディネートに関することを自ら学び、自分や家庭生活の質の向上を図るために学んだことを実践しようとしている。	インテリアコーディネートに関することを自ら学び、自分や家庭生活の質の向上を図るために学んだことを実践しようとしている。
1			いろんなイメージのインテリアを考える。	○		○	○								
2	これからの住まい	住宅政策	日本の住宅政策と課題について理解する。	○	○				○			日本の住宅政策や多様な住まいのスタイル、空き家問題などを理解し、リフォーム等に関する技術を身に付けている。	日本の住宅政策や多様な住まいのスタイル、古民家や空き家利用、リフォームなどを理解し、その解決策を考察し、考察したことを根拠に基づいて、理論的に表現するなどを、課題を解決する力を身に付けています。	日本の住宅政策や多様な住まいのスタイル、古民家や空き家利用、リフォームなどを理解し、その解決策を考察し、考察したことを根拠に基づいて、理論的に表現するなどを、課題を解決する力を身に付けています。	日本の住宅政策や多様な住まいのスタイル、古民家や空き家利用、リフォームなどを理解し、その解決策を考察し、考察したことを根拠に基づいて、理論的に表現するなどを、課題を解決する力を身に付けています。
2		多様な住まい方	新しい住まいのスタイルや住まい方を理解する。	○	○			○							
3		エコロジーな住まい	環境に配慮した住まいについて考える。	○			○		○						

3	再生する住まい 古民家や空き家などの再利用 やリフォーム等の方法について 理解する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			するなどし、課題 解決する力を身に 付けている。	
---	-----------------------------------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	--	--	--------------------------------	--

令和5年度

# [ 家 庭 科 ] シラバス

北海道北見緑陵高等学校

教科	科目	単位数	種別	年次	
家庭	被服技術と理論	2	選択科目	3年	
使用教科書	なし			担当者	

学習目標	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>																		
学習方法	<p>授業や実習を通じ、正しい知識や技術を身につけるよう心がける。経験や体験を大切にし、授業の中での実習を通して技術向上に努める。</p> <p>提出物の〆切を守る。実習・実験にともない、授業開始のチャイムが鳴る前に移動する。</p>																		
学習評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="351 774 719 819">育成を目指す資質・能力</th><th data-bbox="719 774 2402 819">育成を目指す資質・能力の評価内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="351 819 719 838">1 基礎的・基本的学力</td><td data-bbox="719 819 2402 838">基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。</td></tr> <tr> <td data-bbox="351 838 719 856">2 課題解決能力</td><td data-bbox="719 838 2402 856">社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。</td></tr> <tr> <td data-bbox="351 856 719 879">3 情報活用能力</td><td data-bbox="719 856 2402 879">多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。</td></tr> <tr> <td data-bbox="351 879 719 898">4 自己表現力</td><td data-bbox="719 879 2402 898">目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。</td></tr> <tr> <td data-bbox="351 898 719 916">5 主体性</td><td data-bbox="719 898 2402 916">課題解決に向け、主体的に追究することができる。</td></tr> <tr> <td data-bbox="351 916 719 935">6 協働性</td><td data-bbox="719 916 2402 935">課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。</td></tr> <tr> <td data-bbox="351 935 719 957">7 自己理解</td><td data-bbox="719 935 2402 957">諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。</td></tr> <tr> <td data-bbox="351 957 719 976">8 社会貢献(社会参画)</td><td data-bbox="719 957 2402 976">地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。</td></tr> </tbody> </table>	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容	1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。	2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。	3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。	4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。	5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。	6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。	7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。	8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。
育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容																		
1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。																		
2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。																		
3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。																		
4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。																		
5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。																		
6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。																		
7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。																		
8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。																		
担当者から	<p>以上の観点をふまえ、 授業への参加態度、裁縫技術、作品の完成度などから総合的に評価します。</p>																		
担当者から																			
担当者から	<p>実習費がかかります(3,000円程度予定)。実習費とは別に、自分の作品を作るため、布等を選び購入してきてもらう場合があるかもしれません。製作実習の作品などの提出を重視します。期限を守り、完成させられるようしっかりと取り組みましょう。授業は、被服室で実施予定。教室移動の場合はチャイムがなる前に移動し、遅刻した場合は必ず理由を伝えましょう。</p>																		